



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東プレ

コード番号 5975 URL <http://www.topre.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内ヶ崎 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長 (氏名) 露木 好則

TEL 03-3271-0711

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	40,747	△1.0	4,591	55.9	4,544	57.5	2,547	—
23年3月期第2四半期	41,150	—	2,945	—	2,885	—	△540	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,126百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,079百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	50.86	—
23年3月期第2四半期	△10.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	93,768	65,942	65.3	1,222.62
23年3月期	89,122	64,216	66.8	1,188.74

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 61,247百万円 23年3月期 59,551百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	6.6	9,000	63.6	9,200	64.7	5,000	434.2	99.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年6月14日に発表した業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、詳細につきましては四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績に関する定性的情報」、本日別に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	54,021,824 株	23年3月期	54,021,824 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,927,000 株	23年3月期	3,925,636 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	50,095,993 株	23年3月期2Q	51,006,173 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、当社及び当社グループの事業をとりまく様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ①概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、震災の影響により、特に主要な取引先である自動車業界におきまして部品供給の停止などにより大幅な生産縮小を余儀なくされ、先行きの見えない、厳しい環境下でのスタートとなりました。

しかし、その後サプライチェーンの復旧、電力供給の制約に一定の目途が立ったことなどから国内自動車生産や、設備投資、個人の消費マインドは回復してきておりますが、欧米経済の景気後退への懸念、円相場の高騰、国内外での自然災害など、引き続き当社グループの経営に影響を与えかねない問題が生じており、先行きは不透明な状況にあります。

こうしたなか、当社グループの業績は、売上高 407 億 4 千 7 百万円、前年同期比 4 億 3 百万円の減収 (1.0%減)、営業利益 45 億 9 千 1 百万円、前年同期比 16 億 4 千 6 百万円の増益 (55.9%増)、経常利益 45 億 4 千 4 百万円、前年同期比 16 億 5 千 9 百万円の増益 (57.5%増)、四半期純利益 25 億 4 千 7 百万円、前年同期比 30 億 8 千 7 百万円の増益となりました。

## ②事業セグメント別の状況

## &lt;プレス関連製品事業&gt;

自動車関連部門におきましては、国内の自動車生産は、震災の影響による減産から回復し、当社の受注・生産も前年並みの水準となりました。また北米においても、日本のサプライチェーンの混乱の影響が一部に見られたものの、受注・生産ともに堅調に推移したことから、プレス関連製品事業全体での売上高は 237 億 1 千 9 百万円、前年同期比 1 億 1 千 7 百万円の増収 (0.5%増)、セグメント利益 (営業利益) は、金型の減価償却方法の変更により償却費負担が軽減したことなどから 40 億 2 千 5 百万円、前年同期比 18 億 9 千 4 百万円の増益 (88.9%増) となりました。

## &lt;定温物流関連事業&gt;

冷凍車部門におきましては、震災の影響により不透明であった架装用トラックシャーシの搬入は、6月以降徐々に改善されたものの、車両更新の先送りなどの影響により冷凍車需要は低水準に推移したことから、受注台数は前年同期に比べ減少しました。冷凍輸送部門におきまして、新規顧客の開拓により取扱高を伸ばしたものの、定温物流関連事業全体での売上高は 134 億 3 百万円、前年同期比 11 億 3 千 4 百万円の減収 (7.8%減)、セグメント利益 (営業利益) は、売上高が落ち込んだことから 2 億 1 千万円、前年同期比 4 億 5 千 6 百万円の減益 (68.5%減) となりました。

## &lt;その他&gt;

空調機器部門におきましては、主に空調設備向け産業用送風機、クリーンルーム用機器の受注が前年同期に比べ増加しました。また、電子機器部門におきましても、主に組込型タッチパネルの受注が増加したことから、その他の事業全体での売上高は 36 億 2 千 4 百万円、前年同期比 6 億 1 千 5 百万円の増収 (20.4%増)、セグメント利益 (営業利益) は 3 億 5 千 5 百万円、前年同期比 2 億 9 百万円の増益 (143.2%増) となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債、純資産の状況

## (資産の部)

流動資産は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加しましたが、有価証券が減少したことから、554 億 8 千 5 百万円となりました。

固定資産では、有形固定資産が、主に東普雷 (佛山) 汽車部件有限公司の立ち上げにともなう設備投資により増加いたしました。投資有価証券の含み益が減少したことから、固定資産合計は、382 億 8 千 3 百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ 46 億 4 千 6 百万円増加の 937 億 6 千 8 百万円となりました。

## (負債の部)

流動負債は、主に受注が回復し仕入債務が増加したこと、設備投資にともなう未払金が増加したことにより、232 億 7 百万円となりました。

固定負債では、主に保有する有価証券に係る評価差額の減少により繰延税金負債が減少したことにより、46 億 1 千 8 百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ29億2千万円増加の278億2千5百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、利益剰余金の増加および為替の影響により為替換算調整勘定のマイナス幅が縮小しましたが、保有する有価証券の評価額の含み益の縮小により、その他有価証券評価差額金が減少したものの、前連結会計年度末に比べ17億2千6百万円増加の659億4千2百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ1億1千9百万円増加し206億9千8百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、38億1千1百万円の増加となりました。主な増加要因は税金等調整前当期四半期純利益45億4千8百万円、非資金取引である減価償却費23億9千4百万円、仕入債務の増加20億8百万円であります。主な減少要因は、売上債権の増加24億3千7百万円、棚卸資産の増加11億1千万円、法人税等の支払額11億3千万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、29億6千4百万円の減少となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出27億4千7百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億3千9百万円の減少となりました。主な減少要因は、借入金返済による支出3億1千3百万円、配当金の支払額3億4千9百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期連結業績予想につきまして、主にプレス関連製品事業におきまして受注が回復基調にあることから、当第2四半期連結累計期間の業績および今後の見通しを勘案し、平成23年6月14日公表の予想値から修正いたしました。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、平成10年4月1日以降取得した建物(建物付属設備を除く)以外の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法は定率法を採用しておりますが、工具、器具及び備品のうち金型について、第1四半期連結会計期間より従来の定率法から定額法へ変更しております。

この変更は、近年、金型の投資額が年度によって大きく変動するようになってきたことにより、収益と費用の対応に乖離が生じるようになったため、金型代金相当額の回収に関わる取引条件(一定期間内均等受取)に対応した費用配分を行うことにより、より適正な期間損益計算の実現を図るものであります。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ976百万円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,154	12,675
受取手形及び売掛金	16,713	19,187
有価証券	10,504	8,392
たな卸資産	6,178	7,254
その他	7,260	7,976
貸倒引当金	1	0
流動資産合計	50,809	55,485
固定資産		
有形固定資産	24,354	25,528
無形固定資産	427	429
投資その他の資産		
投資有価証券	12,040	10,970
その他	1,547	1,414
貸倒引当金	58	58
投資その他の資産合計	13,530	12,325
固定資産合計	38,312	38,283
資産合計	89,122	93,768
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,197	15,179
短期借入金	30	30
1年内返済予定の長期借入金	627	627
未払法人税等	1,061	1,969
賞与引当金	1,089	1,140
役員賞与引当金	78	38
製品保証引当金	218	204
資産除去債務	-	53
その他	2,960	3,963
流動負債合計	19,263	23,207
固定負債		
長期借入金	2,073	1,759
長期末払金	925	859
P C B 処理引当金	38	38
資産除去債務	53	-
その他	2,551	1,961
固定負債合計	5,642	4,618
負債合計	24,905	27,825

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,840	4,840
利益剰余金	51,878	54,076
自己株式	2,459	2,460
株主資本合計	59,869	62,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,550	864
為替換算調整勘定	1,869	1,684
その他の包括利益累計額合計	318	820
少数株主持分	4,665	4,695
純資産合計	64,216	65,942
負債純資産合計	89,122	93,768

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	41,150	40,747
売上原価	34,126	32,087
売上総利益	7,023	8,659
販売費及び一般管理費	4,077	4,068
営業利益	2,945	4,591
営業外収益		
受取利息	87	66
受取配当金	88	111
固定資産賃貸料	53	50
保険配当金	63	61
その他	121	77
営業外収益合計	414	367
営業外費用		
支払利息	14	16
固定資産賃貸費用	9	9
為替差損	414	345
その他	35	42
営業外費用合計	474	413
経常利益	2,885	4,544
特別利益		
貸倒引当金戻入額	12	-
投資有価証券売却益	8	-
固定資産売却益	8	12
その他	3	-
特別利益合計	32	12
特別損失		
固定資産除却損	23	8
減損損失	0	0
投資有価証券評価損	231	-
P C B 処理引当金繰入額	4	-
その他	95	-
特別損失合計	355	8
税金等調整前四半期純利益	2,561	4,548
法人税、住民税及び事業税	917	2,103
過年度法人税等	2,097	-
法人税等調整額	50	198
法人税等合計	2,965	1,905
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	403	2,642
少数株主利益	137	94
四半期純利益又は四半期純損失( )	540	2,547



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	403	2,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	684	700
為替換算調整勘定	7	184
その他の包括利益合計	676	516
四半期包括利益	1,079	2,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,202	2,046
少数株主に係る四半期包括利益	122	80

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,561	4,548
減価償却費	3,889	2,394
賞与引当金の増減額(は減少)	71	50
役員賞与引当金の増減額(は減少)	35	39
製品保証引当金の増減額(は減少)	21	13
前払年金費用の増減額(は増加)	139	113
受取利息	87	66
受取配当金	88	111
支払利息	14	16
為替差損益(は益)	381	233
有価証券売却損益(は益)	2	-
投資有価証券売却損益(は益)	17	-
投資有価証券評価損益(は益)	231	-
固定資産売却損益(は益)	8	12
固定資産除却損	23	8
売上債権の増減額(は増加)	1,944	2,437
仕入債務の増減額(は減少)	1,147	2,008
たな卸資産の増減額(は増加)	394	1,110
その他	66	753
小計	6,009	4,828
利息及び配当金の受取額	127	130
利息の支払額	13	16
法人税等の支払額	3,483	1,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,640	3,811
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	98	498
有価証券の取得による支出	1,097	1,141
有価証券の売却及び償還による収入	2,395	99
有形固定資産の取得による支出	1,660	2,747
投資有価証券の取得による支出	1,213	658
投資有価証券の売却及び償還による収入	817	950
信託受益権の取得による支出	300	300
信託受益権の償還による収入	300	300
貸付けによる支出	29	19
貸付金の回収による収入	45	38
その他	2	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	641	2,964

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	30	30
短期借入れによる収入	30	30
長期借入金の返済による支出	156	313
長期借入れによる収入	200	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	20	25
自己株式の取得による支出	409	0
配当金の支払額	357	349
少数株主への配当金の支払額	50	50
財務活動によるキャッシュ・フロー	794	739
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	12
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,170	119
現金及び現金同等物の期首残高	12,785	20,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,955	20,698

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,602	14,537	38,140	3,009	41,150	-	41,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	117	3	120	281	402	402	-
計	23,719	14,541	38,261	3,291	41,552	402	41,150
セグメント利益	2,131	666	2,798	146	2,945	-	2,945

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,719	13,403	37,122	3,624	40,747		40,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	106	9	115	226	342	342	
計	23,825	13,412	37,238	3,851	41,089	342	40,747
セグメント利益	4,025	210	4,235	355	4,591		4,591

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 会計方針の変更

「会計方針の変更等」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より減価償却方法を変更しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べて、セグメント利益は「プレス関連製品事業」で967百万円、

「定温物流関連事業」で3百万円、「その他」で5百万円それぞれ利益が増加しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。